

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2000-265857 (P2000-265857A)
 【公開日】平成 12 年 9 月 26 日 (2000.9.26)
 【出願番号】特願 平 11-344023

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/22 (2006.01)
F 0 2 C 3/22 (2006.01)
F 0 2 C 3/24 (2006.01)
F 0 2 C 3/30 (2006.01)
F 0 2 C 7/232 (2006.01)
F 0 2 C 7/26 (2006.01)
F 0 2 C 9/40 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C	7/22	A
F 0 2 C	3/22	
F 0 2 C	3/24	A
F 0 2 C	3/30	C
F 0 2 C	7/232	B
F 0 2 C	7/26	A
F 0 2 C	9/40	A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機関の初期運転の間は第 1 の燃料 (1 0 3) を、そして一旦機関が予定の長さの時間の間運転されたら、第 2 の燃料 (1 4 2) をタービン機関に送出すように構成された少なくとも 1 つの燃料配管 (1 0 8) と、

前記燃料配管 (1 0 8) と流体が連通する燃料ノズル (2 0 0) と、を有し、

前記燃料ノズル (2 0 0) は共通の予備混合部分 (2 1 0) を備え、前記共通の予備混合部分 (2 1 0) は、複数の液体燃料回路 (1 1 8、1 2 0) と流れ連通するよう接続された少なくとも一つのガス燃料回路 (1 0 4) 及び少なくとも一つの蒸気回路 (1 3 2) と流れ連通して、前記燃料ノズルに供給された蒸気とガス燃料とが予備混合され、

前記蒸気回路は、蒸気計量弁 (1 3 6) 又は締切り弁 (1 3 4) の少なくとも一方を持つ蒸気配管 (1 3 8) を備え、前記蒸気配管 (1 3 8) が蒸気を前記燃料ノズル (2 0 0) を介して前記タービンに蒸気を供給する、タービン機関の燃料送出し装置 (1 0 0) 。

【請求項 2】

前記燃料ノズルが、複数の燃料入口 (1 2 8、1 3 0) を有する請求項 1 記載の燃料送出し装置。

【請求項 3】

前記複数の燃料入口が、ガス燃料入口 (1 1 2、2 0 2) 及び少なくとも一つの液体燃料入口 (1 2 8、1 3 0、2 0 4) を含む、請求項 1 記載の燃料送出し装置 (1 0 0)

。

【請求項 4】

前記ガス燃料入口（112、202）が前記少なくとも1つの液体燃料入口（128、130、204）より大きく、前記ガス燃料回路（104）が前記前記ガス燃料入口（112、202）に接続されたガス燃料配管を有する、請求項3記載の燃料送出し装置（100）。

【請求項 5】

前記少なくとも1つの液体燃料入口（204）は第1の液体燃料入口（128）及び第2の液体燃料入口（130）を含み、

前記複数の液体燃料回路が前記第1の液体燃料入口（128）に接続された第1の液体燃料配管（124）と前記第2の液体燃料入口（130）に接続された第2の液体燃料配管（126）とを有し、

前記ガス燃料配管（108）が前記第1の液体燃料配管及び前記第2の液体燃料配管より大きい、請求項4記載の燃料送出し装置（100）。

【請求項 6】

前記ガス燃料配管（108）を前記第1の液体燃料配管（124）に接続する第1の接続配管（114）と、前記ガス燃料配管（108）を前記第2の液体燃料配管（126）に接続する第2の接続配管（116）と、蒸気配管（138）と流れが連通するボイラーとを有し、

前記ノズル（200）は更に蒸気入口（140、208）を含み、前記蒸気配管（138）は蒸気を前記蒸気入口（140、208）を介して前記共通の予備混合部分（210）に供給するように構成されている請求項5記載の燃料送出し装置（100）。

【請求項 7】

機関の運転中、ガス燃料（103）をそれぞれ前記第1の液体燃料配管（124）及び前記第2の液体燃料配管（126）を介して前記第1の接続配管及び第2の接続配管に供給し、前記共通の予備混合部分内が所定の圧力に達した後にガス燃料を前記ガス燃料入口を介して前記共通の予備混合部分（210）に供給するように構成されている請求項6記載の燃料送出し装置（100）。

【請求項 8】

前記前記第1の液体燃料配管及び前記第2の液体燃料配管から前記第1の接続配管及び第2の接続配管を介して前記ガス燃料配管にガス燃料を差し向けるよう構成され、

一旦機関が予定の長さの時間の間運転されたら、液体燃料を前記第1及び第2の液体燃料配管（124、126）に差し向けるように構成されている請求項7記載の燃料送出し装置（100）。